



会報

東京出雲崎会

東京出雲崎会

会長 千代田 幸八

発行者 佐藤 憲一

〒132-0031 江戸川区松島3-29-10

☎03-3651-9517

平成11年 創刊号 1月吉日



故長谷川先生 23回忌追善法要 尼瀬 養泉寺

東京出雲崎会の誕生

昭和十六年、日本と独伊三国同盟など慌ただしい世相のなか、出小校長を歴任された長谷川先生の法要があり（上写真）その席上、当時世田谷で開業医を営む平澤順一郎氏などによって「京浜地区の在住者による懇親会」が話題となり、翌十七年在京の出小卒業者数名にてお盆休みを兼ねて同窓会が平澤氏宅にて催され、その席には、後に初代会長になられた佐藤三千三郎氏や、会の取纏め役として活躍された春日邦平氏（名譽町民）、佐藤三次郎、高橋辰次、嶋川潤三各氏などが参加された。その席へ前もって平澤氏より連絡をうけていた出雲崎おけさの名手小町南山、名達正城・中川寅吉、小町弥太郎の各氏や三味線、踊手の方々も馳せ参じ、とても賑やかな会であったそうで、その席には当会の顧問の伊藤丈山氏も参加されたそうです。そして宴酣の時、佐藤氏より「年一回是非この様な郷里の雰囲気に浸る会を創って」との発言により、準備に取掛る事になり、これが即ち東京出雲崎会創立の発端となった実情のようです。翌十八年八月に郷里に於て「京浜出雲崎会郷土激励第一回連絡会」が催され、初

代会長に佐藤三千三郎氏が就任され、十月に出小創立七十年記念式典があり、東京出雲崎会と会名を正式に決め、校旗を寄贈して、会の活動がスタートしました。二十九年に出雲崎おけさ会（後の保存会）が結成され、二月の総会に初めて唄と踊りを披露していただき、それが今日に引継がれています。

一方戦後東京西越会が発足し、山後政七氏、赤尾兼章氏などが活躍されていましたが、三十二年の町村合併により、相互の会を合併して新生東京出雲崎会として、日本閣に於て六十一名出席のもとに、第一回総会が開催され、町長殿の話を聞き、おけさ踊りを楽しませて戴きましたのが恒例となります。今日に至っているのです。先人のご尽力に感謝申しあげます。

歴代会長名（敬称略）

- 初代 佐藤 三千三郎
- 二代 相澤 猛
- 三代 佐藤 三千三郎
- 四代 田中 吉次
- 五代 嶋川 善一
- 六代 青山 庄司
- 七代 大矢 政雄
- 現代 千代田 幸八

九代 丸山 幸八
十代 丸山 幸八
十一代 丸山 幸八
十二代 丸山 幸八

会報発行のご挨拶

会長 千代田 幸八



謹んで新春のご祝詞を申し上げます。

東京出雲崎会は、お蔭様で創立五十五年になり、今回初めて会報を発行することになりました。今迄この事は節目毎に協議されて、

懸案でありましたが、漸く発刊に漕ぎ着くことができました。ご同慶に存じます。さて、この会の誕生、変遷については、一頁の通りであります。同郷の人として、何の気兼ねもなく楽しく集まれる所謂価値観を同じくする方々の懇親会ではあります。お互いが共通の縁を基に楽しみ、慰め学び、喜び合うことのできる貴重な集いであると思えます。

一方この会は、故郷を離れて暮している私達にとって故郷は「祖先の墳墓の地」であり、心の安らぎの地でもありますので、会員と町とのパイプ役の一助を担っておりませんが、町の広報「いずもぎき」や柏新時報社のニュースなどと合せて情報の一助になれば幸に思っております。

近年若い人達の入会が多くなり、また社会が多様化しておりますので、今迄の良きものを伝承し、更に新しい事を目指し、多様な催を通じて、楽しい会になるよう取組んで参りたいと念じております。

『年』にふる里遠し寒椿」

創刊によせて

(株) 柏新時報社
代表取締役 岡島 利親



会報「東京いずもぎき」の創刊を、心よりお祝い申し上げます。ふるさとを想う会員の懸け橋として、立派な編集がすすめられることを願っております。

先代の岡島利夫が、創立当初から親しいおつきあいをいただけてまいりました。父は常々、「東京出雲崎会は楽しい会だ。あつたかい気持ちになる。」ということをおっしゃっておりました。新年総会席し、女性層や若い世代の参加が増え、発展する会の様子を肌で感じておりますが、楽しいから、懐かしいからこそ、多くの皆様が参加してくるんだらうと思えます。この会報において、こういった雰囲気うましく醸し出されればと期待しています。



東京出雲崎会会報

創刊号発行によせて

出雲崎町長 小林 則幸



ふるさと出雲崎町に思いを馳せ、日頃から絶大なるご支援ご指導をいただいている東京出雲崎会の皆様には衷心より厚く感謝申し上げます。

氏の主導により、海岸地区、西越地区の東京会を合併し、新たな理念のもと昭和三二年に新生東京出雲崎会が組織され、以来、町としても更なる会の発展を願いつつ、密接なるネットワーク、心のふれあいを構築して参りました。

そして、この度めでたく東京出雲崎会会報を創刊されることに對し、心からお祝い申し上げますと共に、今後、六五〇余名の会員相互

の先進なる情報源として、また、会と町との重要な情報の掛け橋として大きな役割を担う事と確信いたしております。

故郷を同じくし、思い出を同じくする人々との出会いや心のふれあいは、何ものにも代えられない心のやすらぎをもたらすものであります。

希望に満ちた、そして活力みなぎる町づくりを願い、故郷出雲崎町の発展にお力添えを頂いていることを十分受け止めながら、私ども町も積極的な事業執行を展開していく所存でございます。

会報発刊を祝して

出雲崎町議会議長 矢島 行男



東京出雲崎会の皆様には、日頃暖かいご支援を賜わり厚くお礼を申し上げます。この度の会報「東京いずもぎき」の発刊おめでとうございます。本来の会の目的に加え、会員相互の情報

トーに町民・行政・議会が一体となり頑張っているところがあります。毎日、暁に小木の城の峰を仰ぎ、夕べには日本海の夕日と佐渡、弥彦山を眺め、活力の原動力にしております。これは皆様にとりましても共有するなつかしい思い出もあると存じます。かけがえない郷愁を同じくする皆様の心の安らぎ、よりどころとしてこの会報は、素晴らしい充実した大切な「絆」だと確信いたします。

卓越なる情報源が求められている中、貴会が創刊される会報が、今後更なる会の発展を示す道しるべとなるようご祈念申し上げます。創刊号発行に寄せてのごあいさついたします。

故郷出雲崎町では、住民総参加の地域づくりをモット

と、この会報が「故郷を愛するみんなの会報」として、会とともにますます発展されますことをご祈念申し上げます。お祝いの言葉といたします。

相沢猛氏、佐藤三千三郎

平成 11 年度

「東京出雲崎会」定時総会



【交通】JR総武線「錦糸町駅」北口下車徒歩1分
(山手線秋葉原駅乗り換え3ツ目)

◎日時 平成 11 年 3 月 6 日 (土)
午前 11 時より受付

(開会…正午 閉会…午後3:30)

◎場所 錦糸町 「ロッテプラザ」 葵の間

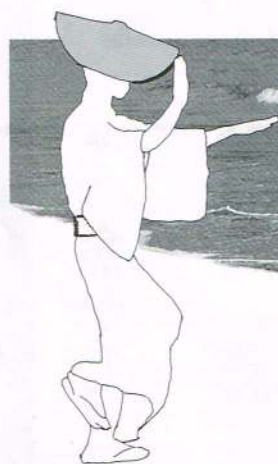
(東京都墨田区錦糸 4-6-1 ☎ 03-3625-5101)

◎会費 合計 12,000 円

(年会費 1,000 円 + 総会費 11,000 円)



定時総会は会員の皆様にお集りいただく年1回の楽しいイベントです。万障お繰り合わせの上、是非ご出席下さい。



(飛び入り大歓迎)

豪華にアトラクション

(磯の香が漂うあの謡が今ここに響き渡る…三味と笛に合わせて！)

「出雲崎おけさ保存会」の伴奏に合わせて・・・おけさ踊り大会

厄除け・招福・開運を祈願しての 獅子舞い

口に広がるおいしい地元の味と香り・・・海産物出店即売会

総会開催のご挨拶

東京出雲崎会
幹事長

佐藤憲一

あけましておめでとうござ
います。寒さ厳しき折柄皆様
いかがお過ごしでしょうか、念
願でありました会報「東京い
ずもざき」前ぶれ号に続き創
刊号も無事おとどけ出来まし
た事は会員の方々の御協力と
編集員の皆様のご苦勞を心よ
り感謝いたしております



ネルの出口がまだ見えてきません。リストラ、先き行「老後」の不安、金融・経済・政治不安等々暗いニュースが多い日が続いております。この様な時こそふる里を同じくする人達が一同に集り、老も若きも美味しい料理を頂きながら昔し話しや近況を大いに語りあひ又歌や

御礼を申し上げます。継続は力なりと申します。りきまず、のんびりと充実した会報を目指して参りたいと思えますので皆様方からの御意見、趣味サークル便り等々色々御投稿をお待ちしております。年が明けても不況と言う長いトン

す。今年より心機一転会場を下町錦糸町北口近くのロッテプラザで行う事にいたしました。料理も中華料理から日本料理に変わります。是非大勢の方々にご賞味頂きたく、五障お繰り合せのうえお越しください。役員一同心よりお待ちしております。

総会事務局からのお願

三月六日(土) 東京出雲崎会の年に一度の大祭りだでねえ。町からはおけき会が、いかの塩辛、鰯の親子漬モゾクも来るでね。皆でおけき踊りをさんざやろて。お獅子は大鼓笛、頭に尻やりて事やりて者がやれるがんだでね。懐しい友、やぶち・先輩後輩を大好きな姉ちやを誘つて来なせね。どうしても来らんね方には賛助年会費(通信連絡費)年千円ですが同封の払込票でお振込みをお願い申します。尚ご出席の方は当日会場にてお支払いお願い致します。今度は受付けの混雑をさける為に同封の名札紙を用意しましたのでご氏名記入の上ご持参下さい。ご入場券領収書名札と三連カードになっています。どうぞ忘れないで来て下さい。待っていますすけね!!

星がまぎ

創刊

(順 不 同)

TURBO (回転機械の設計)

(有)ターボエンジニアリング

代表取締役 丸山 保

〒279-0021

浦安市富岡4丁目5番6号

電話: 0473(55)8911

FAX: 0473(55)8911

(株)竹田電気工業所

代表取締役社長 竹田 弘

(鳴滝町出身)

〒169-0073

東京都新宿区百人町1-22-3 (竹田ビル)

電話: 03(3371)0039 (代表)

FAX: 03(5330)7338

ドコモショップ北新宿店 03(3371)0093

IDOプラザ北新宿店 03(3371)0911

財団法人

良寛記念館

理事長 青山庄司

新潟県三島郡出雲崎町大字米田
東京都台東区浅草4丁目19-5

カバン 鈴木 亀
鈴木サチイ
(旧姓加藤)

佐藤表具店
佐藤敏夫
(はのこの会)

〒二二八〇八〇三
相模原市相模大野六ノ十八ノ七
電話 〇四二七(四二)七七七五

〒一〇〇〇三
東京都台東区千束四一五一一二
電話 〇三(三八七)二二〇二

花勝
巻柄厚子
(旧姓推谷)

〒三五一一〇〇一一
埼玉県朝霞市本町一〇九一五
電話 〇四八(四六三)二〇九二

(有)花見煎餅
平野 茂
(はのこの会)

〒四一〇〇八八五
静岡県沼津市下本町二十八
電話 〇五五九(六二)〇三九四

東京良寛会
幹事 野口文男

〒二〇四〇〇〇三
東京都清瀬市中里五十七四

さざなみ会
幹事 磯部昌治

〒三四三〇〇三三
埼玉県越谷市恩間七三二一五

増改築のゴリラランド
日本住宅総合サービス(株)

代表取締役 伊藤 勝

〒136-0076
東京都江東区南砂6-11-17
電話: 03(3648)8575
FAX: 03(3648)1966

創作きもの
京紋 大丸屋
社長 加藤進康

〈川崎店〉
〒210-0001 川崎市川崎区駅前本町26-1
川崎駅ビルB E 3階 ☎044(222)5931

〈松戸店〉
〒271-0091 松戸市本町1-1
松栄館ビル1階 ☎047(368)1605

築地 魚がし
高桑 順一

電話 〇三(三六四)〇一〇一七
〇三(三五四)三七九二〇

はのこの会
津山忠夫
錦織益雄
佐藤憲一

美味・匠の店 お川

小甲軍治

〒二二七二〇〇三三
千葉県市川市市川南三十三一
千葉県市川市市川南三十三一
サンライズ鈴木
電話 〇四七三(二二)五二八八

企画制作・総合印刷 アサヒ工芸(株)
代表取締役 金子振二
金子照枝

出中 昭和28年卒業

一一美会

〒一一六〇〇〇四
荒川区東日暮里四十二一四飯島ビル
電話 〇三(三八五)九一五二
FAX 〇三(三八五)九一五二

東京出雲崎会
幹事長 佐藤憲一

加藤工務店
社長 加藤勝彦

〒三三四〇〇〇五
埼玉県鳩ヶ谷市里一〇七五ノ三
電話 〇四八二(八二)〇四二九

(昭和8・9年生)

東京末広会

幹事 竹田 弘
吉田侃一郎
渡辺晴雄
市川 静

〒169-0073

東京都新宿区百人町1-22-3
電話: 03(3363)3468

やきとりのさとう

忘年会・新年会・同級会
大小宴会場 15~40名様
御予算ご相談ください。

佐藤安孝 (勝見出身)

〒273-0853

千葉県船橋市金杉8-6-9

電話: 0474(48)4827

(有)横山木型

取締役社長 横山政男

〒339-0054

埼玉県岩槻市仲町1-15-13

電話: 048(756)1626(代)

FAX: 048(758)1840

祝

会報 東京

東京
七雲会

(昭和5年出小卒業)

世話人

後藤・山本(銀)・大矢

おしゃれ洋品

マルベニ

代表取締役 青山庄司

〒111-0032

東京都台東区浅草4-19-5

(浅草千束通り商店街中央)

電話: 03(3876)3445

美術書画

平安堂

相沢表具店

〒114-0014

東京都北区田端1-7-15

電話: 03(3828)1310

さざなみ会

役員一同

出中第三回卒業生の集い
(昭和二十五年三月卒業)

電話 〇三(三七八)四七七〇

幹事 石井石雄

モッコの会

午朋会

幹事一同

昭和二十年三月

出雲崎国民学校高等科卒

祝 創刊号

会十三小出

(代表) 唐沢俊男
大塚イスイ
世古イツイ
連絡先
電話 〇三(三七六)九八八一

電話 〇三(三三六)三六五四

税理士 櫻井ミス

櫻井税務会計事務所

〒二一〇一〇八〇
川崎市川崎区旭町二一十二
電話 〇四四(三三三)八六五五

中尾 栄

七八会

(代表幹事)

大谷三郎
吉水護出雲崎国民学校
昭和20年卒業

昭三辰巳会

(若い衆の辰巳会)

昭和3年 辰巳の生まれ

代表幹事 中川栄吉

若柳会

(若やいでいこう会)

出雲崎小 昭和11年卒業

(代表幹事) 千代田 幸八

高島政 見

ヤマダ工務店
企画・設計・施行二級建築士
山田次則〒343-0023
越谷市東越谷7-21
電話 0489(66)8941ビューティーサロン
ヤマダ
貸衣裳・着付・メイク協会美容技術士
山田とく〒343-0023
越谷市東越谷7-21
電話 0489(63)1836

出中 昭和三十三年卒業

美美会

出中 昭和二十七年卒業

二七会

(株)広橋工務店
代表取締役 廣橋実
〒一三三〇〇六
東京都江戸川区篠崎町七三十二
電話 〇三(三六七)〇五七八
FAX 〇三(三六七)〇五九四山本銀次
〒一五三〇〇四二
東京都目黒区青葉台一十九
電話 〇三(三七二)三九五九

紙ふうせん

出中第13回卒業生の瓦版
創刊平成7年4月
次の第16号は2月発行

夕陽会

昭和19年度生れの
東京出雲崎会内の
会名です

昭15辰巳会

出雲崎中 昭和31年卒業

紀元2600, 2601年生まれ

代表幹事

佐藤安孝
山田次則
内藤久吉みんなおいでよ
たのしくアソボ
ジャンケンポン

はこの会

出中 昭和26年卒業

会津柳津 旅行報告 (文化委員会)



福満虚空蔵尊この寺に良寛の像と詩碑があり只見川のほとりを歩かれた姿がだぶる。来て良かった。

(十三の会 大塚スイ)

○縁ありて 訪ねし柳津

日和秋

○遠来の 客もてなすなめこ汁

(七八会 安達キヨ)

当日は雨でどこも見学できなと思っていたりましたが翌日は晴れ充分見学でき、楽しめました。

(さざなみ会磯部昌治)

和やかな会話のはずむバスの中、外の雨も気にならずビデオで町の様子が流れ、想い出にふけるうち鶴、

和気藹々の旅でした。

詳細は次にご紹介するご参加の皆様感想文に依らせていただきますが、紙面の都合で一部勝手にカット短縮して掲載したものです。寄稿いただいた方々にお詫び申し上げますと同時にご了承承お願い致します。



秋の会津・柳津一泊の旅 中川栄吉

紅葉の秋。十月十七日、十八日、東京から会津の柳津一泊の旅に参加。合風十景、葉集を心に配しながら、バスに乗る。参加者、三十名。高級バスに満足。柳津町では、日本三大虚空蔵尊の一つである、福満虚空蔵尊を参詣。良寛大師の像と詩碑の前で記念写真。夜は温泉で汗を流し、宴会では、柳津町長の参加もあり、歌を踊り、楽しい一夜を過ごす。また、歴史文化にもふれ、大変すばらしい旅でした。

柳津の秋

- 一、秋雨忘れ宴盛んにバスの中
- 一、秋時雨琴の音わかれ鶴ヶ城
- 一、石垣を囲む紅葉の彩をばし
- 一、良寛を偲ぶ柳津秋しぐれ
- 一、湯へ入る柳津温泉秋深し
- 一、語り合ふ秋の夜長を夜更けの町
- 一、台風去る温泉の朝の秋日和
- 一、わらわさの家屋を飾る葉けいとう
- 一、田子倉湖雲を湖面に秋の風
- 一、再会を誓いあいつふ旅の秋

ヶ城に着きました。数々の名所に足を伸すことが出来、楽しい旅でした。
(はこの会石原ミツ子)

- 右上 福満虚空蔵尊 圓蔵寺境内 徳一大師様
- 左上 奥只見 五十嵐家見学 葉けいとう美し
- 左中 圓蔵寺境内 良寛さんの像と詩碑に面会
- 左下 只見川の清流 はあ～きれいだのし



歴史の城下町 会津鶴ヶ城 観光記念

7

平成10年10月17日

「台風一過 雨も上がり、いゝあんべだいねえ」

天領の豊かさを今に伝える

「出雲崎妻入りの町並」

東京出雲崎会で会報を発行されるに当たり、現在進めている「妻入りの町並景観保全事業」についてご紹介します。

海岸地区の町並は昔は石のせ屋根で砂利道、山と海に挟まれ一本の道に沿って家々が軒を連ねた通称ふんどし町です。おおむね家数(棟数)は七百八十戸ですが八十六パーセントが妻入りで、こんなに長い妻入りの町並は全国一だということになる訳です。江戸時代いくら賑わった町でもせいぜい一・五キロメートル。出雲崎の町並は三・六キロメートルもありますので、その賑わいといったらそれは大したものでした。

佐渡からは幕府の財政を支えた金銀の荷揚げ、北前船の寄港地、俳聖芭蕉を始とした文人墨客の往来も盛んで、北国街道の宿場町としても大変栄えました。

江戸幕府は元和二年(一六二六)出雲崎に七万石の支配代官所を置き、北蒲原、魚沼、頸城地方を直接治めた(天領)所で、越後一帯の政治、経済、文化、交通の中心都市として賑わいをきわめた町です。町並ではありとあらゆる職と商売が営まれ、現在でも屋号で知ることができますが、出雲崎に行けば衣食住はもろろん職にありつけるとあって近郷近在から多くの人々がやって来ました。間口が狭く奥行きが長い妻入りは出雲崎独特の形式です。平成八年に建設省の歴史国道に選定、更にふるさと新潟の顔づくり事業景観形成推進地区に指定されたのを機に、地元町内、関係団体から委員を推薦いただき「妻入り町並景観推進協議会」を発足し、かわらばん発行、景観シンポジウムなど町並に対する意識の高揚を目的として各種の事業を行っています。

町でも規則の枠にはめるのではなく、理解と協力を求める目安として「妻入り景観保全要項」を定めています。

故郷の家の新築、修繕をされる時は

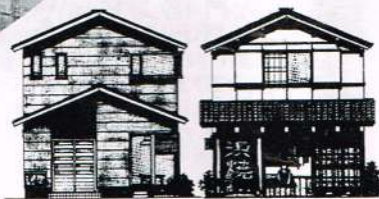
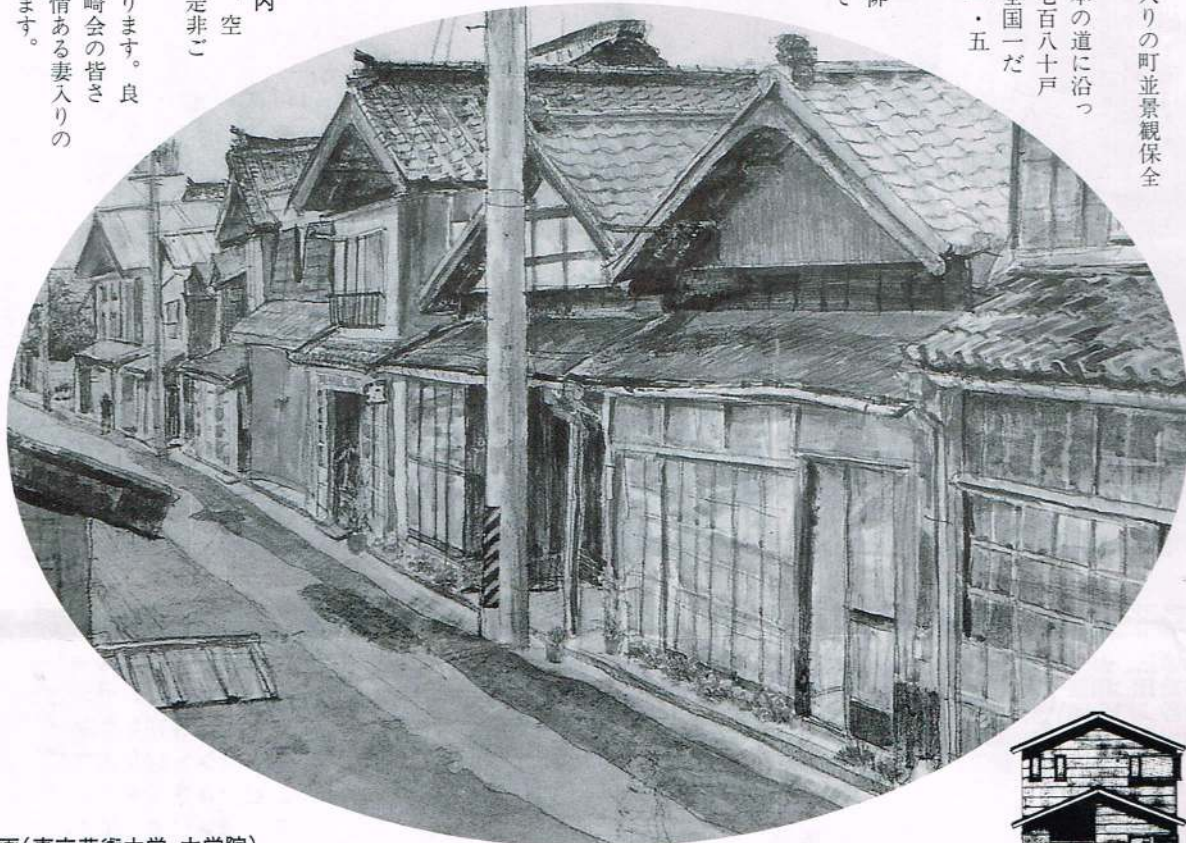
○切妻屋根 ○色は茶系かグレー系 ○道路に面する所は二階建以内

○屋根は瓦 ○外壁は板張り等 ○建具は格子風の戸。という事で、空き家、空き地をお持ちの東京出雲崎会の皆さんにおかれましては、是非ご理解とご協力をお願いしたいと思っております。

海岸地区は高齢化、空き家が多くなっている現実の課題があります。良寛さんが生まれ育った町並、ふるさとに活気があることが東京出雲崎会の皆さんにとっても喜びではないかと思えます。私どもとしても往時の風情ある妻入りの町並景観事業を進めることで町に活気を取り戻したいと思っております。

街並景観推進協議会

会長 鈴木 豊吉



画(東京芸術大学, 大学院)
田村正宏氏(1987年8月)

東京良寛会

野口文男

ふる里

○さま・禅師・上人・和尚に親しまず「良寛さん」と里人ら呼ぶ

○冬日さす良寛像のかたわらに老婆ら睦みて孫の守りする

○蒔(へた)のみを残して立てる柿の木に氷雨ひさめ降りつくふる里の夕

○朝まだき海への風に吹かれつつ鷗の羽がたゆたえて翔ぶ

○共に征(ゆ)き海に果てたる奥つ城(き)の君の

見ているふる里の海

○夕暮れて勤めの母をひとり待つ幼(おきな)とつき合う紙のふうせん

○足悪(あ)しき男(お)

○の児を背負い跳ぶ縄の大波小なみの波のゆるやか

○ふる里の浜べに立てば少年の目となり見ている帆掛け船いくつ

編集部より

会報創刊に寄せて、東京良寛会役員の野口文男さんから短歌をいただきました。

俳句、短歌等に興味をお持ちの方や東京良寛会に参加なさりたい方は左記へお問い合わせ下さい。

〒一六八〇〇七二

杉並区高井戸東三三三三

「東京良寛会」

会長 古谷秀政

組織委員会より

会員名簿作成について

当会の会員名簿は、昭和六十二年度に、当時の千代田幹事長によって作られたのが最後であり、その後諸搬の事情により、新規作製を見合せておりましたが、平成六年から十年迄の確定会員名が出揃いましたので、改めて会員名簿を調整中であります。

会員構成を見ますと、昭和十七年誕生以降の方々の入会を促す必要があります。もともと若い方々によつて若返りを計り、会の内容を多様化したいと思ひます。同級、知人等の方々をお誘いいただき度くお願い申し上げます。その後の入会者については、別途考慮致します。

（組織委員長）

東京渚俳句会

月登る気配や裏山浮き上がる

ひっそりと燃えて墓守る彼岸花

うす日さし狐嫁入り秋時雨

玉肌を透かす湯船や月明り

秋時雨しばし湯もみの唄を聞き

伊藤 丈山

鳴川 白汀

後藤 仙楽

中川 夢想子

大矢 雄峰

東京渚会は出雲渚会の下部組織で、毎月不在者投句によりその例会に参加しております。帰郷その他都合の良いときに自由参加、特別の時はその都度参加し会員同士の研修・懇親を深めております。掲句は「渚」一〇月号掲載句です。

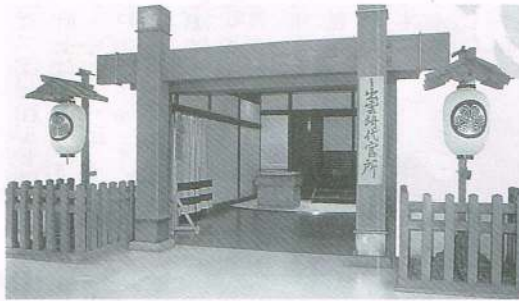
れ、句会中心の俳句を主張され「渚」が他の結社の属さず、誇り高い地域の俳句集団として永い活動を続けてこられたのもむべなるかなと思ひます。

東京渚会は春秋不定期に集まり、互いの健康と作句の楽しみを味わっており、多数の参加をお待ちしております。

ご連絡は
電話（〇四七四）七六一八五五一 大矢まで

ふるさと たより 天領まつり

今年は平成十年十月十日（テン・テン・テン）、はなやかに各種イベントもあり大いに盛り上がりました。夢ふうせんスタンプが一年がかりでがんばり大成功をおさめた屋台村でタコ焼きいかずまき、タコごはんの販売は大繁昌に。浜焼きはや



はり一番の売上高でした。コミカル時代劇「夢ものがたり捕物帳」ではスタッフが目撃ある捕物劇を演じ観客は拍手と笑い声で大喝采。ジャンボ紙芝居、金鉾石重量あてクイズと華やか賑やか大時代祭でした。

船まつりに

2万余人の見物客、

雨の晴れ間を

優壮に進む船団



第四十七回 船まつり

人の心をときめかせ、熱気と興奮に包まれる夏。心も弾む夏。最大最高のふるさとといふべき夏の夏を彩るメインイベント。船まつり。前夜祭では十五団体約三百六十人が参加してのおけさ流し大行進が行われ、全国一の美しい妻入りの街並に美しい姉や達の浴衣の華が咲きました。船団パレードは二回行われ、数多くの観光客や帰省客、会のメンバーも乗せ、日本海の大海原を快走。大漁旗をなびかせ、豪快勇壮パレード。

同級会名

若柳会▷若やいでいこう
十三の会▷S13年卒業
十四会▷S14年入学
S3辰巳会▷S3年生れ
巳午会▷巳と午生れ
午朋会▷午歳生れの仲間
モッコの会▷モッコ遊び
七八会▷菜っ葉めし
末廣会▷S8年度生れ
さなみ会▷海水浴好き
はこの会▷じゃんけんぽん
二七会▷S27年卒業
一二美会▷S12,13年生れ
S15辰巳会▷紀元2600年生れ
美美会▷S33年卒業
夕風会▷S19年度生れ

※現在判明している同級会々名です。

夕日コンサート

心に響く最高のメロデー、恒例の九十八年夕日コンサートが八月八日（土）天領の里イベント広場で盛大に開催されました。今席で三回目を迎えたこのコンサートは、部構成で行われ、美しいメロデーは夕日で海が赤く染まりかけた夕風にびたりマツチした素敵な歌声に大観客も聞きはれていました。舞台も赤一色に染まり、夕日も水平線に沈みかけたころは皆々が心も浮き浮き老いも若きも青春まつただ中、酔ふやうな心地でございました。

編集後記

不景気の嵐が吹きまくる異常気象の中を創刊前ふれ号の先導で本日、めでたく会報「東京いずもぎき」が船出することができました。寄せられた記事や多くの方からのお便りにも会報に寄せる熱いまなざしを感じます。中には会報は多くの仲間の日常活動を知ることができているので読むのを楽しみにしているから是非頑張ってくれ!!...との便りも戴きました。

次代をになう若い方々の参加（総会・会報作り）を心待ちしております。

（編集部）

出雲おけさ大会

第十二回出雲おけさ全国チャンピオン大会が八月二十三日（日）町民体育館で盛大に行われました。今年には唄部門だけで素晴らしい唄の競演を繰り広げ、会場はペンコシャンコいずんざきおけさ一色に染まりました。